

日语注释文选

北京出版社



日语注释文选

第十六辑

《日语注释文选》编辑部 编

*

北京出版社出版

(北京崇文门外东兴隆街51号)

新华书店北京发行所发行

北京印刷一厂印刷

*

787×1092毫米 32开本 4.25印张

1984年4月第1版 1984年4月第1次印刷

印数 1—18,100

书号: 9071·110 定价: 0.38元

目 录

一	どうも	1
	附参考译文：「實在太……」	
二	熟語のいろいろ	12
	附参考译文：复合词种种	
三	子牛の話	19
	附参考译文：小牛	
四	鉄道のはじまり	32
	附参考译文：铁路的诞生	
五	昆虫	47
	附参考译文：昆虫	
六	太郎こおろぎ	52
	附参考译文：太郎蟋蟀	
七	消しゴム調べ	63
	附参考译文：橡皮的研究	

八	誤解	73
九	麦田	77
	附参考译文：麦田	
十	金色の里	85
	附参考译文：金色的村庄	
十一	ひる飯にまねく	93
	附参考译文：请吃午饭	
十二	旅館	103
	附参考译文：旅馆	
十三	るす番	113
	附参考译文：看家	
十四	地震・雷・火事・おやし	120
	附参考译文：地震・打雷・火灾和父亲	
十五	ふろへ入る人	129
	附参考译文：洗澡的人	

どうも

日本にきた外人に、これを知っているとたいへん便利だからぜひ覚えておくといひという日本語を一つだけ教えてほしい、などといわれたら、皆さんどうするか。

「こんにちは」ではない。「さよなら」でもない。「ありがとう」でも「すみません」でもない。「どうも、どうも」——これである。

「どうも」——このことばさえ知っておれば、先にあげた四つのことばも、すべてこれで代用が①きく。友人に道で会ったら「やあ、どうも。」といえばいいし、別れるときは「それでは、どうも。」といっておけばよろしい。応用範囲は、きわめて広い。婚礼のとき、あるいは葬儀の場合に堅苦しいあいさつを長々と述べる必要はなく、「本日はどうも。」といって頭を下げるだけで意味が通じる。日常の社交用語として②、これほど便利重宝なものはない。

「それでは、いったい、どうもとはどういう意味内容を持ったことばなのですか。」外人に改めてそう尋ねられた日本人が、

「さあ、それはどうも……」

といって頭をかいた。これは笑い話——。

ある辞書によると、「どうも」には、「どうしても」「いかにすれども」「はなはだ・まったく」という三つの意味があると記されている。「どうも見えぬ。」「どうもしかたがない。」「どうも驚いた。」等々、要するに、どうしようもない、なすすべを知らぬ、まったくお手上げだ、ということである。高価な贈り物を受けたときなどに発する「これは、どうも。」ということば、親しい友人の告別式に赴いたときなどに述べる「なんとも、どうも。」ということば、いずれも感きわまって、自分の気持ちをどう表現していいのかわからない、ということだ。

それは、自分の思っていることを言いあらわすのに、ことばというものがいかに不備で不適切であるかということの自己告白であり、そこに日本人の言語観を見ることができる。思想や意見はことばによって必ず的確に表現でき、また表現③すべきものだとする西洋の合理主義的・楽天的コミュニケーション感覚とは、まったく正反對のもので、以心伝心とか不立文字をよしとし、常とする日本人の精神構造と深いかわり合いがある。いわば、超言語的思想表現である。

このように、「どうも」といえば、どうにも言いあらわせない、ということが原義でありながら、今日われわれは「どうも」でなんでも表現している。「どうもありがとう」、「どうもすみません」、「どうも困った」などの、「どうも……」に続くあとのことを省いて使っているのだ。電話のかけ方を例に取ろう。

「もしもし、こちらは加藤ですが。どうも、どうも。」

あいさつは万事これで事足りる。「このごろは少し暑うございますね。」とか、「このあいだは失礼をいたしました。」などいわなくてもすむ。

このごろは、マスコミュニケーションをマスコミというふうに、フルネームを略語化することが多い。しかし、「どうも」の場合は表現の簡略化であつて、マスコミというときのことにことばの単なる簡略化とは違う。略語はそれ自身一つの意味しか持たぬ。「どうも」は一言にして多義的な意味を持つ。多義性を生かすことで簡略化に成功しているわけである。

日常のあいさつことばとして「どうも」をよく使い始めたのは、おそらくジャーナリズム関係の職業の人たちであろう。彼らの仕事の性質上、儀礼的あいさつはせいぜい簡略にして、敏速な事務処理を図る必要がある。そこで簡潔なあいさつこ

とばとして「どうも」が登場する。そして戦後、マスコミ産業の拡大化にともない、「どうも、どうも。」も一般に普及し、大衆化したのであろう。

大体、東方の君子国である日本には、あいさつことば一つにも、めんどろなしきたりやきまりのようなものがある。「このたびはふしぎな御縁で。」といえは婚礼のときの、「だんだんとおさみしゅうございます。」と言えは初七日のときの、それぞれ慣用あいさつことばである。これらをいちいち覚えて使いこなすのはたいへんだ。それに、こうした慣用句はいわば紋切型になって、しらじらしい感じを相手に与えることにもなる。「どうも」——この一語のほうにどれほど情感がこもることか。

「どうも」は、あとに続くことばを皆いわなくても、それを使う時と場合、あるいは抑揚のつけ方で、何を言おうとしているのかがわかる。自分の置かれたさまざまな状況のいかんに応じて、広く無限に応用がきく。「どうも」というのは、それだけ取り出してみれば、意味の上では確かにあいまいなことばだ。しかし、あいまいだらいかん、という理屈は必ずしも成り立たない。実際の状況では、「どうも」のあとに続く意味は、わざわざことばに出さなくても、ちゃんとわかるようになってくるのだ。言わないでもわかっていることをわざわざ言うのは、意味の明晰化ではない。

代用)、呼び出しがきく(可以传呼——指打电话)。

② これほど……なものはない 惯用型。「没有比……更……的」。例：これほど高いものはない

(没有比这个更贵的)、これほど便利なものはない(没有比这个更方便的)。

③ すべき 本来是文语的助动词べし上面加一个动词す。这里是这个すべし的连体形，表示有相

当大的肯定性的推量、或予定。译为「……应……的……」。例如：表現すべきもの(应表现的
东西)。

④ 原則脱落的態度 这是一种「不再从原则上考虑的态度」。原文中的「脱落」在译成汉语时，
けんくたつてきないで

相当于「脱离开」；全词组可译为：脱离开原则考虑问题的态度。

⑤ なぜなら……のだから(だ)。 这是一个设问句的惯用型。本来可译为：如果问为什么，那

么便是因为……。但也可简译为原因句，用「那是因为……」来起句。

参考译文

实在太……

如果到日本来的外国人，想要让你教给他一句学会会很方便而一定要记住才好的日
语时，那么你们怎么办呢？

这样的一句日语，不是「こんにちは」(你好！)，也不是「さよなら」(再见！)；

不是「ありがとう」（谢谢！），也不是「すみません」（对不起！）。而正是「どうも。どうも」。

只要学会说「どうも」这句话，那么前面列举出的四句话，便都可以用它来代替了。在路上遇到朋友时，可以说「やあ、どうも。」（噢，你好！），在分手时，说上一句「それでは、どうも。」（那么，再见！）也就行了。应用范围是极广的。婚礼时，或者葬礼时，不必要冗长地说一套拘谨的话，只要说「本日はどうも。」（今天我实在太……）然后只行个礼，也就表达了要说的意思。作为日常的交际用语，没有比这个更方便适用的了。

当外国人再问：

「那么，『どうも』究竟是具有什么含义的词呢？」

这时，被询问的日本人便搔头说：

「さあ、それはどうも……」（这个，那可是『どうも』——实在太……）。

这——是笑话。

根据一本词典，在「どうも」词条下，写着三个词义项：「总是……」「怎么也……」「实在、真的……」。象「どうも見えぬ。」（怎么也看不见）、「どうもしかた

がない。」（实在没有办法）、「どうも驚いた。」（真的吃了一惊）等等句中，主要是指：毫无办法、不知如何是好、简直没办法等意思。比如在收到贵重礼物时所说的「これは、どうも。」（这太……），在参加亲近朋友的送别会时所说的「なんとも、どうも」（真是太……）的话，都是感情达到极点，不知如何表现自己的心情才好的意思。

这种情况本身正暴露出：为了说出自己所想的一切，语言该是多么不完备和不确切，在这种情况下，同时还可以看出来日本人的语言观。它与西方的那种认为思想与意见都能用语言准确地表现出来，而且也应当表现出来的合理主义、乐天主主义的语言交流感觉，是完全相反的，它是与那种认为心领神会或参悟的方式为好、为常的、日本人的精神构造有深深的关联的。也就是说，这是超语言的思想表现。

这样，说「どうも」时，尽管原来的词义是实在无法表达，可是今天我们却用「どうも」来表现任何内容。比如「どうもありがとう」（非常感谢）、「どうもすみません」（真是对不起）、「どうも困った」（真伤了脑筋）之类的话中，在「どうも」之后所接着说的话，便是可以省略去的。让我们以打电话的方法为例吧。

「もしもし、こちらは加藤ですが。どうも、どうも。」（喂，我是加藤啊，你好，你好。）

寒暄话，用这个「どうも」便可以应付一切场面。那些「近几天有点热喽，是吧」或者「近来一直没有问候真是失礼」之类的话，不用说也就可以了。

近来，将一个全称的词简化为缩略语的情况很多，象マスコミユニケーション简化为マスコミ（泛指报纸、广播、电视等有广泛影响的宣传机器）。「どうも」的场合，是表现上的简化，但并不象マスコミ那样仅仅是词的简化。缩略语其本身只有一个含义。而「どうも」虽是一个词，但是却具有多义性的含义。也就是说，利用其多义性使简化得到成功的。

作为日常的寒暄话开始常常使用起「どうも」的，恐怕是搞新闻采访工作的人们。由于他们的工作性质，要尽量简化礼节上的寒暄话，以便进行迅速的事务性接触。在这种情况下，作为简便的寒暄问候语的「どうも」便出现了。而在第二次世界大战后，大概是随着新闻、广播、电视等宣传事业的扩大化，「どうも、どうも」的说法也一般地普及起来、大众化了。

本来，在东方君子国的日本，即使是一句寒暄话，使用上也有复杂的惯例和规矩。比如：说「このたびふしぎな御縁で」（这真是天作之合），是在婚礼上的贺词；而说「だんだんとおさみしゅうございます。」（请多加节制忧伤），是在丧后七天时的吊

喧，这些分别是惯用的问候庆吊用语。把这些话逐个记住并使用得体，那可是很难的事。而且，这一类惯用句，由于已成为所谓老一套的客套话，有时会使对方感到装腔作势毫无感情。「どうも」——这样的一个词中，该容纳着多么丰富的感情啊。

「どうも」一词，即使不接着说随后的那些话，也可以根据使用它的时间和场合、或者根据说时的声调就明白所要说的内容。它可以随着自己所处的各种不同状况，应用于广阔无限的范围中去。「どうも」这个词，如果单取出来这些观察，在含义上确是暧昧的词。可是，说是因为暧昧所以不足取，那理由未必成立。实际情况是，「どうも」之后的含义，即使没有说出，也是能明确地理解出来的。不用说也能明白的事情却特意说出，那不是使含义的明确化，那是一种浪费。而且，日常讲话正是以某种程度的暧昧含蓄为润饰手段在生活中使用的。「どうも」作为这样一种润饰手段，是质量很高的。就是说这因为，「どうも」能够把各种不同的状况作抽象处理的缘故。人的关系越复杂，它便越能发挥作用。

这样想来，「どうも」这样词，似乎具有中止对事物的判断、迴避对事物的断定的功能。如果说「どうもわからん」（真不明白），那就是指各方面都考虑到了之后仍是怎么样也不明白，从而表示出一种从原则上讲不再考虑的态度。「どうも」所具有的多种含

义的性质，就是来源于这样的「原则上不再考虑」、「判断中止」、「迴避断定」的几种性质的。而且，作为日常的交际用语的礼节性，也可以说是从这里产生的。如果说为什么，那就是因为，礼节和交际中，与表述思想不同，前者是并不需要在语言表达上明确。

戴辅忠 译注

熟語のいろいろ

平仮名や片仮名に比べて、漢字はどんな特長をもっているでしょうか。

仮名で「はた」と書いたのでは①、旗なのか、畑なのか、または機なのか②、その区別がつきません③。これを「旗」とか、「畑」とか④書けば、字を見ただけで⑤、どの「はた」を指しているのか、すぐわかります。それは、漢字の一つ一つが、それぞれの意味をもっているからです⑥。

「旗」(はた)には、ほかに「キ」という音があり、「国旗」「旗手」など、ほかの漢字と組み合わせさせて⑦熟語を作ります。けれども、「キ」という音だけが独立して用いられることはありません。「国」(コク)や、「手」(シュ)も、単独では用いられません。「国民」「祖国」「手段」「投手」などのように、必ず他の漢字と結びついて、熟語として使われます。ただ、そういう場合でも、「国旗」「国の旗」、「旗手」は「旗を持つ人」というように、それぞれの漢字のもっている意味は失われません。ですから、熟語全体の意味は、それを構成しているそれぞれの漢字のもつ意味と深い関

係があります。

そこで、漢字二字で出来ている熟語について、上下の漢字のもつ意味の関係を調べてみると、次のように、いろいろな型の結びつきがあることがわかります。(上の字をA、下の字をBとします。)

① 上が動作を表し、下がその動作の対象を表すもの。消火(火を消す)、延期(限期を延ばす)、登山(山に登る)。

この型は、「BをAする」「BにAする」などの関係です。

② 意味のよく似た漢字を重ねたもの。

行進、起立、思考、暗黒、永久、温暖、改革(「革」には、「あらためる」という意味があります。)

これは、「AしBする」「AでありBである」などの関係です。

③ 上下が対になって並んでいるもの。

父母、年月、風雨、飲食、見聞。

これは、「AやB」「AとB」という関係です。

この中には、上下が反対の意味のものがあります。